

【編集後記】

二宮治彦（編集長）

恒例の「桐技会」OB／OGの近況報告、今回も楽しく読ませていただきました。体育学の研究の道へ進まれ、その経験と実績をもとに就職も内定されたというお便りでした。苦労して獲得した「臨床検査技師」の資格が有利に働いていることも報告されていました。医療科学類の卒業生の進路に多様な選択肢があることを示していただいた思いがします。就職後、さらなるご活躍をお祈りすると共に、しばらくしたら、社会人としての近況もご報告をいただければ幸いです。

「桐技会」の学生スタッフも充実してきているようで、同窓会活動をますます充実させていってください。

医療科学類は、これまで浦山学類長が推進されてきた医療科学類と大学院（フロンティア医科学専攻）との連携に加えて、通称「グローバル30」への取り組みも加わって、小規模な学類ながら多様な背景を持った学生が入学し、それぞれがもつ多様な指向に応えられるように、さらに変化しようとしてきています。学生諸君には、「学生による授業評価」などを通して学類の教育に積極的・建設的な意見を求めたいとおもいます。教員もこれに真摯に応えらるとともに、FD活動などを通じて教育内容をさらに充実させていこうとしております。

卒業生・在校生・教員は、それぞれの立場で、このTJMSをご活用いただき、積極的な発言を期待しております。

筑波医療科学 第6巻 第3号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 二宮治彦 有波忠雄
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日	2009年12月25日